令和３年度入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	３～４年次
使用教科書	高等学校改訂版　新編国語総合（第一学習社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・スクーリングでノートやプリントを活用することで「聞く能力」「書く能力」を向上させましょう。レポートの作成を通じて、文章で説明する力を鍛えましょう。
・さまざまな文章に親しむことで「読む能力」を向上させるとともに、テーマに応じてお互いの意見や気付きを発表することで「話す能力」を身につけましょう。
・長く読み継がれている近代の作品に親しみ、作品の文学史的な意義や時代背景についても理解を深めましょう。
・古文については、仮名遣いや語彙をしっかり身につけ、音読に親しみましょう。
・漢文については訓点の仕組みを理解し、書き下し文ができるようになりましょう。
・スクーリングにおいて積極的に授業に取り組むとともに、レポートの提出期限を守りましょう。定期考査は日常の学習のまとめと捉え臨んでください。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

令和３年度入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
後期	随筆に親しむ	「身近な動植物の名を覚えよう」	○	○		○	○	a:文章に沿って内容を理解し、日常をふりかえる新しい視点を持つ。 b:身近な植物についてグループワークする。 d:漢字や語句の意味に注意し、音読をする。 e:内容や語句の意味、漢字の読みなどについて正しく把握しそれを声に出して表現できるようにする。	abde：行動の観察と記述の点検 d:音読小テスト 定期考査
	小説に親しむ	「羅生門」	○		○	○	○	a:登場人物の心情の変化を理解し、小説のテーマを味わう。 c:登場人物の心情の変化をよくわかるようにノートにまとめる。 d:場面や心理を想像して音読する。 e:ノートやワークシートの意義、授業との関連を理解している。 古文の現代語訳について理解している。	acde：行動の観察と記述の点検 d:音読小テスト 定期考査
	古文に親しむ	「かぐや姫のおひたち」 「筒井筒」	○			○	○	a:文章に書かれている内容を理解し、古文の世界に親しむ。 d:古語に慣れ、歴史的仮名遣いの仕組みを知り、正しく音読することができる。 e:平安時代の物語文学について歴史的に理解する。「竹取物語」「伊勢物語」を鑑賞する。	ade:行動の観察と記述の点検 d:音読小テスト 定期考査
	漢文に親しむ	「五十歩百歩」 「矛盾」	○				○	a:書き下し文について理解をし、本文を書き下し文にして、音読する。 e:訓点文と書き下し文の関係を学び、どのようにして自分たちの社会に取り入れたのか、先人の知恵について興味関心を持つ。故事を背景に持つ漢字の熟語について知識を広げる。	ae:行動の観察と記述の点検 定期考査

令和３年度入学生用

後期	随筆に親しむ	「人はなぜ仕事をするのか」	○	○		○	○	a:文章に沿って内容を理解し、日常をふりかえる新しい視点を持つ。 b:課題に沿ってグループワークする。 d:漢字や語句の意味に注意し、音読をする。 e:内容や語句の意味、漢字の読みなどについて正しく把握しそれを声に出して表現できるようにする。	abde：行動の観察と記述の点検 d:音読小テスト 定期考査
	小説に親しむ	「よだかの星」	○		○	○	○	a:登場人物の心情の変化を理解し、小説のテーマを味わう。 c:登場人物の心情の変化をよくわかるようにノートにまとめる。 d:場面や心理を想像して音読する。 e:ノートやワークシートの意義、授業との関連を理解している。 古文の現代語訳について理解している。	acde:行動の観察と記述の点検 d:音読小テスト 定期考査
	古文に親しむ	三大随筆 「枕草子」 「方丈記」 「徒然草」	○			○	○	a:文章に書かれている内容を理解し、三大随筆のそれぞれの世界に親しむ。 d:古語に慣れ、歴史的仮名遣いの仕組みを知り、正しく音読することができる。 e:三大随筆について歴史的に理解する。「枕草子」「方丈記」「徒然草」を鑑賞する。	ade:行動の観察と記述の点検 d:音読小テスト 定期考査
	漢文に親しむ	「梟逢鳩」 「両頭蛇」	○				○	a:書き下し文について理解をし、本文を書き下し文にして、音読する。 e:訓点文と書き下し文の関係を学び、どのようにして自分たちの社会に取り入れたのか、先人の知恵について興味関心を持つ。故事を背景に持つ漢字の熟語について知識を広げる。	ae:行動の観察と記述の点検 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
　　c:書く能力　　d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。